



令和3年につなげるための

グランシップ 誰もがWonderfulアート ワークショップ

2020



目をつむるスタジオ

～令和3年「目をつむる写真展-つむるつながる」に向けて～

2020 9/6 (sun)

静岡県コンベンションアーツセンター/グランシップ 6階展示ギャラリー

目をつむるスタジオ

参加者同士がお互いの「目をつむる写真」を撮りあうフォトスタジオ。それぞれの人たちのストーリーに触れつつ、カメラマンになったり、モデルになってポーズを考えたり、目をつむったり…。そんな“撮りあいっこ”が繰り返された。



【目をつむるスタジオの進めかた】

- ①目をつむる写真展の紹介
- ②参加者同志でお互いの目をつむる写真を撮影
- ③その場でプリントしてプレゼント

これまでの「目をつむる写真展」の紹介

第1回から第3回までの「目をつむる写真展」の中から、それぞれ選び出した写真のスライドショーを壁面投影した。



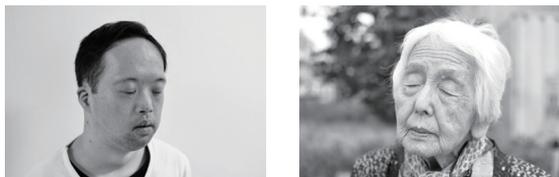
第1回 目をつむる写真展「ヤマシナポートレート」
2015年2月5日ー2月14日
ラクト山科4Fアトリウムデッキ（京都市）
294枚の写真の中から50枚のスライドショー（5分）



【左】第2回 目をつむる写真展「ツムルツナガル ポートレート」
2016年1月26日ー2月14日
「めぐりアート静岡」ギャラリー・とりこ（静岡市）
333枚の写真の中から70枚のスライドショー（7分）

【右】第3回 目をつむる写真展「つむるつながる」
2018年2月13日ー2月24日
新大宮商店街事務所（京都市）
343枚の写真の中から50枚のスライドショー（5分）

目をつむると、うかんでくる、あのひとの顔。



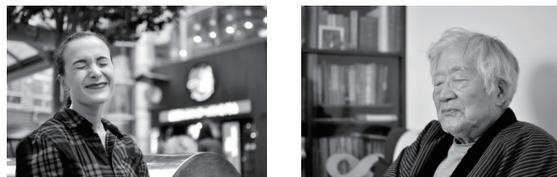
目をつむったあなたの顔がすき。



目をつむったじぶんの顔、見たことある？



目をつむると、こころがうごく。



目をつむるとやさしくなれるのはなぜ？



目をつむることは、ゆるすこと。



つむる、つながる、つたわる、おもひ。



「目をつむるスタジオ」参加者のこえ

目をつむると、いつ撮られているかわからないけれどワクワクするみたい。いろんな感情が湧き出た面白い撮影でした。撮る撮られるの関係性も初対面の人同士、仲の良い人同士によって表情もさまざま、見ていて楽しかったです。

目をつむることで優しい印象になって面白く、モノトーンもまたその人の持つ雰囲気が浮き上がってきて良かったです。自分でも、もっと撮ってみたいくなりました。

ワークショップは久しぶりの体験でしたが、ワークのすすめ方が良かった。自分の知らない自分を引き出されたあっという間の1時間でした。

撮るのも撮られるのも、ずっと目をつむっていただきます。

家族の写真をとり、とても素敵な思い出になりました。

はじめに、このワークショップにいたるまでのお話が伺えたのが良かった。もっと違う自分にも出会える気がしたイベントでした。